

Memo

令和7年度 第2回種子島地区自立支援協議会出席者名簿(令和7年8月26日 火曜日 開催分)

	所 属 名	職 名	氏 名	zoom
1	種子島地区自立支援協議会	会長	橋口 勝	
2	社会福祉法人豊山会 たちばな園	管理者	遠藤 貴晶	
3		相談支援専門員	日笠山 秀行	
4	NPO法人障害者支援センターこすも	副所長	松岡 拓郎	
5		相談支援専門員	高木 真理子	
6	種子島医療センター	リハビリテーション室室長 (OT)	酒井 宣政	○
7	(医)純青会 せいざん病院	事務長	中野 哲男	○
8		診療支援部長 (OT)	田中 剛二	○
9	訪問看護ステーションがじゅまる	所長 (PT)	中村 裕二	○
10	訪問看護ステーションことのは	管理者	村田 郁美	
11	就労継続支援B型 ねいろ24	サービス管理責任者	柳田 耕太	
12	鹿児島県立中種子特別支援学校	校長	宮脇 義博	
13	熊毛支庁地域保健福祉課	課長	馬込 いづみ	
14		地域支援係長	小田 邦浩	
15		主事	高山 あゆみ	
16	鹿児島公共職業安定所熊毛出張所	統括職業指導官	原 祐	
17	西之表保健所	所長	亀之園 明	
18	西之表保健所	保健師	的場 由香	○
19	西之表市福祉事務所	所長	下村 英之	
20		次長	中園 智之	
21		副長	中村 吉江	欠
22		主査	小田 智美	
23	中種子町地域福祉課	課長	浦口 吉平	
24		主査	原田 拓郎	
25	種子島中央くらし・しごとサポートセンター	相談支援員	元川 真一	
26	南種子町社会福祉協議会	相談支援員	長田 千尋	
27	南種子町福祉事務所	係長	坂口 普一	
28		主事補	濱瀬 翔樹	
29	くまげ障害者就労・生活支援センター	就業支援員	鎌田 直子	
30		生活支援員	笹川 咲	欠
31	熊毛地区手をつなぐ育成会連絡協議会	会長	栗島 輝文	
32	熊毛地区民生・児童委員協議会	会長	濱崎 秀志	
33	中種子町身体障害者福祉協会	会長	古市 龍馬	
34	相談支援センターあかつき	所長	原崎 美紀子	
35		相談支援専門員	松下 護	
36	種子島地区自立支援協議会	事務局	荒木 潮彦	

1. 共通意識
2. 情報の共有
3. 具体的に協働する
4. 地域関係者ネットワークの構築
(保健・医療・福祉・教育・就労)

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会 (ハイブリッド開催)		第1回 27日(火) 9:30～			第2回 26日(火) 10時～			土屋徹氏 研修会 11/11, 12, 13	12/6(土) 共生フェ ス 12/7(日)			第3回 17日(火) 10時～
運営会議	16日 (水) 10時～				6日 (水) 10時～						27日 (金) 10時～	
くらし部 会 (こす も)	運営会議 16日 (水)	第1回 27日 (火) 10:30～		第2回25日 (金) 14時～			支援者研修 強度行動障 害 17日(金)	世話人研修 日程未定			第3回 13日 (金) 14時～	
はたらく 部会 (あかつ き)	運営会議 16日 (水)	第1回 27日(火) 10:30～	運営会議 26日(木) 10:00～	第2回 29日 (火) 10時～		支援者研 修				支援者研 修 運営会 議 23日 (金) 14: 00～	第3回 10日 (火) 10時～	
こども部 会 (たちば な)	運営会議 9日 (水)	第1回 27日(火) 10:30～	運営会議 13日(金) 10時～	第2回 15日 (火) 10時～						運営会議 16日 (金) 10 時～	第3回 17日(火) 10時～	
相談支援 部会 (ねいろ 24)	16日 (水) 行政参加	14日(水) GH・生活介 護関係参加	13(金) 児童関係参加 10(火) 医ケア児等 関係者会議	9(水) 就労関係 参加	6日(水) 行政参加	10日(水) 19日(金) 医ケア児等 研修会	1日 (水) 21日(火) 医ケア児等 関係者会議	5日(水)	17日(水)	14日(水)	27日(金) 行政参加 3日(火) 医ケア児等 関係者会議	25日(水)
	基幹	こすも	たちばな	あかつき	基幹	せいざん	ねいろ24	たちばな	こすも	あかつき	基幹	ねいろ24
権利擁護部 会												
その他		医ケア児等ガイ ドライン錦江町 視察 5/21～22						南種子町 ふるさと祭 り	障害者週間 12/3～9		西之表市 市民フェア すこやかフェス	

熊毛支庁地域保健福祉課・市町福祉係・相談定例会メンバー (事務局：基幹)

自立支援協議会運営会議メンバー

はたらく部会

◎就労選択支援員養成研修受講について

就労選択支援員養成研修がスタートし、全国から受講希望が集中している為厳正な選考が行われている。現在、開催地は東京都のみで今後各県での開催に広げていく方向であると聞いている。圏域ごとに偏りがないように選考して欲しい。

たちばな園 遠藤氏

研修に申し込んだが選考に漏れて受講できない状況。

橋口会長

受講場所が東京しかなく、たちばな園さん、レインボーさんが申し込まれたが今のところ受けられる状況にないとのこと。

相談あかつき 原崎氏

今後、九州、熊毛と研修も広がってくると思うが、各圏域間で偏りがでないように選考して欲しい。

◎就労選択支援モデル事業について（なかぼつより）

なかぼつ 鎌田氏

就労選択支援事業モデル事業への協力をお願い

何度か協議会や、はたらく部会のなかでお話しさせていただきましたが今年度鹿児島県の中で、奄美圏域と熊毛圏域がモデル地域になっています。

先月のはたらく部会・なかぼつ合同会議の中で 就労支援センターラシーネ「川内」さんからも、この事業について分かりやすく説明をしていただいたところです。

今現在、奄美圏域が1件のみとなっております。

熊毛圏域でも是非1件はできたらいいな・・とと思っているところです。

改めて・・

「対象者要件」ですが・・

- ①新たにA型を利用する意向がある者
- ②就労移行における標準利用期間を超えて利用する意向のある者（3年目利用）
- ③就労選択支援と計画相談支援の連携事例
- ④在宅支援および在宅就労の意向がある者並びに重度障害者
- ⑤令和7年度10月から就労選択支援を開始した実施事例

言葉の解釈として「意向のある者」は、その意思や希望が少しでもある者として解釈いただいて構いません。

目的

- ①本人の強みや課題、特徴を本人と共同して整理し、自己理解を促すこと
- ②その過程や結果を通じて、本人が進路を選び、決めていくこと となりますのであくまでも自己決定のお手伝いをするという認識でいいと思います。

実際、人員不足の中、1か月という短い期間でアセスメント、ケース会議、アセスメントシートの作成などのサービスを行っていかないといけないというハードな部分もありますがしっかりとサポートしていきます。と川内さんからもお言葉を預かっておりますので是非、ご協力のほどよろしく願いいたします。ぜひ、この方はどうかなと思われる方がいましたら中ポツ鎌田までお声掛け下さい。

ハローワーク 原氏

就労選択支援に関してはまだ実態をつかめていないところですが、もし誰か該当者がいればこちらでも書式などをお渡しすることもできるのでお声掛けください。

◎就労支援者勉強会（語ろう会）について

令和7年9月4日（木）西之表市市民会館301会議室 18時15分～

あかつき 松下氏

グループディスカッションを予定している。困難事例について等、現場レベルで考えて行けたらと思っている。

◎運転免許入校前の勉強会「わかばプラン」について

あかつき 原崎

今年度は、今のところ三事業所（法人）から寄付を頂いている。三名の方がわかばプランの利用を開始している。2名が普通自動車免許、1名が原付免許となっている。今後とも皆さまのご協力の程よろしくお願い致します。

障がいのある方の入校前の勉強会 ■ 「わかばプラン」

運転免許にチャレンジ！

就職先を探す時、通勤の問題があります。「車の免許が取れたらな～」と思っても、難しそうであきらめている人が多いかも…。そういった地域のニーズから始まった運転免許勉強会『わかばプラン』は、入校前に苦手な学科をわかりやすく教え、普通免許（オートマ限定）、原付免許の取得が可能。教習所の教官が入校前から入校後の免許取得まで（フリガナ付きテキスト使用）一貫してサポートしています。



れいわねん がつ にち かいこう
令和7年6月7日（土） 開校

めい い じゅこうかいし
3名が受講開始しています。

ふつうめんきよ めい げんつきめんきよ めい
(普通免許1名・原付免許2名)



令和7年度

わかばプラン寄付金募集！

わかばプランは令和6年度までは 地域貢献事業：（福）豊山会、（福）暁星会で運営してきました。

令和7年度からはこのわかばプランにご賛同頂ける法人・事業所・企業等からの寄付金にて運営する運びとなりました。

寄付金につきましては1口 5,000円から（何口でもOK）となります。
寄付金は勉強会や補講等の講師料（プラス10時間無料）やチケット料金の補填等（技能検定・仮免学科試験各3回まで無料）に充てられております。

令和7年8月6日現在、共生工房猿蟹川・社会福祉法人暁星会・NPO 法人こすもより寄付を頂いております。ありがとうございます。引き続き皆様からの寄付のご協力よろしくお願い致します。

振込先 鹿児島銀行 中種子支店
店番 610 普通預金
口座番号 3096170
口座名 ウンテンメンキヨシユトクウンエイカイギ



伊達社長



田邊教官

協力：種子島自動車学校

問い合わせ先

種子島地区自立支援協議会 はたらく部会
事務局 相談支援センター あかつき
Tel 27-0900 FAX 27-0118
くまげ障害者就業・生活支援センター
Tel 28-3445 FAX 28-3447

くらし部会 事務局より

次回、第3回のくらし部会での検討事項

- 地域移行地域定着推進会議から
地域移行地域定着の事業をやっているいないに関わらず、地域において必要な支援である事を認識し、地域資源の中でできている事もある事について共有したい
- 障害児入所施設(児童養護施設)の児童が特別支援学校の現場実習において、グループホームの体験利用をしたい場合、制度上福祉サービスが使えません。実費での利用になり負担が大きい。日中の就労や生活介護の現場実習なら、事業所の許容範囲内ではあるが、無償で受け入れている所。さらに、グループホーム事業所が無償(支援費なし)で請け負わなければならないのか?という課題(家賃、食費等は自己負担)
 - ⇒ 福祉サービスのグループホームの体験利用は使えないのか?
 - ⇒ 西之表市では、鹿児島県の施設入所の実習生を受け入れるにあたり、1か月分の国保連への請求分を市が負担した事例もある。
どのような形で処理したのか?
 - ⇒ 特別支援学校の進路担当の先生にも、利用の手順について提示する必要がある
- ヘルパー事業所の不足の課題
独居生活者の支援者が周りにおらず相談支援専門員が実際の支援に介入していくしかないという問題がある。⇒ 訪問看護のアウトリーチや地域や相談窓口での現状把握をしていきたい。
- 医療的ケア児(者)の生活介護での受入れの報告をしていきたい(医ケア児・者を巡る種子島の現状やそこで見られる課題を、今後自立支援協議会にも報告していきたい)。

橋口会長

グループホームの体験ですけれども、体験ですから特別支援学校では自己負担に対するご家族の方の抵抗などはありませんか?

特別支援学校 宮脇校長

抵抗というよりも……、学校の方でも実習に係る宿泊の経費として年間何千円単位の補助がありますが、それだけでは二、三日分だけしかないので、それ以上のところをどう見るか、ケースバイケースで話し合いをしながら決めていくこととなります。

橋口会長

西之表市のケースで詳しいことを説明していただけますか?

西之表市 小田氏

児童養護施設の「児」の方がグループホームという「者」のサービスを受けるということで、「児」「者」のサービス利用の溝の問題。西之表市と GH 事業所間で児相を介さずに決定して対応した。本来は児相の意見を求めていくものだが、児相から返事をもらうのに半年ばかりかかるため、即時に対応することが難しかった。今回は 17 歳のケース。

橋口会長

普通の GH で一部屋を借りたのですか？

空いている一部屋を使ってもらったのですか？

GH の法律的にそういった緊急の受け入れができるのかどうか？障害者としての GH として認可されているが、空いている部屋はそういったショートステイのように使っているのかどうか？障害者の GH はその辺の使い方はどうなっているのかどうか気になったものですから。市町の方、どなたか詳しいかたいらっしゃいませんか？

中種子町 浦口課長

これは、国保連への請求分を市が単独で負担したということなのか？

鹿児島市の子どもが来て西之表市の GH を使ったということですか？

西之表市 小田氏

サービス費の方は市が負担しています。

中種子町 浦口課長

児であって者のサービスを使っているから、本来の支援費制度とは離れたところの制度活用になっているのですね。

西之表市 小田氏

「やむを得ない事由」で挙げて対応しています。

中種子町 浦口課長

「者」の GH に対して認定されていない「児」が体験ではあっても入れるのか？そういった疑問が出てきます。ただそういった制度は必要だとは思いますが。

橋口会長

ぜひまた、そういったことも教えて頂けたらと思います。そうするとまた GH の有効な活用に繋がると思います。

ヘルパーの事業所のことで補足はありますか？

こすも 高木氏

ヘルパーがいらないから私が出ていかなければならない事態が発生しています。

独居の障害者に対して誰も周りにいないので相談支援専門員である自分達が直接動いていかなければならないことが多くて、皆さんそういったことでお困りではないのかなということを知りたいです。

橋口会長

ヘルパーさんの人材も不足しているみたいですから是非皆さんも探してみてください。

あと、医療的ケア児・者の報告で、今公立病院から看護師さんを派遣してもらって対応していましたが、公立病院の運営形態が変わるということで、看護師さんが派遣できなくなるかもしれないということを懸念しています。

施設には必ず看護師さんが一人は常駐でいるんですけども、一般の支援員がどこまでできるのか？看護師さんでなければダメなのか？研修を受けた支援員ではダメなのか？そういった

た支援員が対応していくことが出来るような仕組み作りを検討していく必要があると感じています。ことのはさん、どうですか？

ことのは 村田氏

実際に利用者を観ていないので何とも言えないですが、どうしても資格が必要な医療行為はあるでしょうが、看護師と一緒にすることや緊急時のマニュアルをしっかりと整備した上でやっていくというのであればいいのかなと思います。

橋口会長

分かりました。看護師さんも人手が足りないということなので、その辺りもちょっと検討していかなければならないということです。

<告知>

『助産師さんと性の勉強会』

9/6(土)13時30分～15時

青少年ホーム

当事者も！家族も！支援者も！世界レベルの包括的性教育について学びましょう！

性教育は人権教育で、自分を大事にする所から始まります。まずは、支援している私たちが学び伝えられるようになりたいです

『GH 世話人のための研修会』

9/17(水)13時～14時30分

市民会館3階 301 会議室

世話人ってどんな仕事？ 世話人さんの在り方を考えるグループワーク

『強度行動障害 学びたいキホンのキ』講師 田邊貴仁氏

10/18(金)18時～20時

中種子町中央公民館 小会議室

強度行動障害の研修を受けていない支援員も、障害の特性を理解し支援ができるようにしたい。環境を整えれば！支援が変われば！問題行動とされる行動も見えなくなってきました

詳しくは、くらし部会事務局まで
TEL. 28-3350 FAX.28-3351 担当 高木

令和7年度第2回こども部会 報告 児童発達支援・放課後デイサービスオリブ 日笠山氏

日時；令和7年7月15日（火）10:00～11:30（当初7日より変更）

場所；西之表市民会館301会議室

参加人数；32名

協議内容

1. よろ～てファイルの活用について

以下の内容について確認。

① 現状把握のための保護者アンケートの実施（対象；ファイル所持者；行政にて把握）

検討委員会の設置（相談支援事業所、行政担当、保護者を予定）

第2回部会以降に検討委員会を開催、アンケートの内容の検討（7,8月で調整）

※ 諸事情により9月開催に変更予定

第3回部会までに実施（行政が実施、回収）し、集計内容を第3回で報告

② よろ～てファイルの周知

特別支援学級への広がり；教育委員会による周知（取り決めの確認が必要）

Q&Aを含めたチラシの作成・配布

橋口会長

よろ～てファイルは特別支援学校さんにも随分協力して頂いていただいぶ広がってきているようです。

2. すまいるキッズ親の会の要望書について

① 子どもが遊べる場所を作ってほしい。夏の暑い日や雨の日など休日に親子で過ごせる場所がもっとあってほしい。

② 環境整備してほしい。施設の老朽化が気になり校舎内外のひびなど直せる範囲で整備してほしい。教育環境の充実で子どもたちも先生方も安心安全に過ごせるよう願います。

③ 小児の外来リハについて 種子島以内において、外来で受けられるリハが西之表にしかなく、通うことが難しい。中種子や南種子にあると助かります。

④ 島内の歯科診療について 島内で歯科診療が受けられるような環境であってほしい。その後の状況について回答を得たい。

橋口会長

親の会からはずっと同じような要望が上がってきているんですが、①の遊べる場というのは居場所みたいなところでしょうか？

オリブ 日笠山氏

文書で頂いているので細かい内容までは分かりません。

橋口会長

前から公園や遊べる場が少ないという意見が出ていましたけれども、社協さんなかでは作れませんか？

社協 元川氏

夏の暑い日とか雨の日の休日などに過ごせる場所というのはちょっと難しいです。

橋口会長

近くにあれば一番いいんでしょうけれど…送迎のこと等も考えると親御さんにやってもらえるのか、そういう事も考えないとですね。行政の方々もそういうのが作れる場所があれば検討してもらえたら…以前からこういった要望はでていましたので。

②の施設の老朽化とはどこのことでしょうか？学校のことでしょうか？

オリーブ 日笠山氏

すまいるキッズのある増田中学校跡地のことです。

中種子町 浦口課長

学校廃校後に無料貸与されており、まずは契約上修理をするのは誰がすべきということを確認し、修理していく必要があります。

橋口会長

わかりました。③ 小児外来について 中種子町、南種子町にあればということですが、今度公立病院の運営母体が変わりますが、そういうところでできればいいんでしょうけれどね。あと④番目の歯の治療に関して、その後榎原先生何か進んでいますか？

オリーブ 日笠山氏

うまく連絡がとれなくて、まだ総会の結果を聞いていません。

橋口会長

二、三日前のヤフーニュースで、屋久島徳洲会病院で歯科診療を始めたとでていました。今度公立病院が徳洲会が運営するようになると歯科ができるんじゃないかと思いました。過敏な児や麻酔が必要な児の歯科治療が島内で収まれば…、皆さんの方でまた知恵があったらまた教えて下さい。

3. ケースの検討

各市町ネットワーク会議や事業所等から困難事例（本人及びその環境も含めて）を事前に募る。

ケースの内容によって検討の仕方を考える。

<グループディスカッション>

事例；10代女性 不登校の方について

関係機関のかかわり方

・家族・本人が今どの段階にいるかを見極めて支援を進めていく。

課題解決に必要と思われる支援者へのつながりを自然な形で支援する

- ・ ケース会議；課題の整理、支援者の役割分担を明確にする。
- ・ 母のつながりのある人をたどって、キーパーソンになりえる人を探っていく。
- ・ ケース検討会を行いながら、相談支援専門員を主としてできる事を探していく。

※その他当事者と関係機関の信頼関係の構築が必要との意見あり。

令和7年度第2回相談支援部会 報告 担当木下氏欠席のため事務局荒木が伝言

- 医ケア児のガイドライン作成のため、7月に錦江町へ視察研修に行ってきました。
- ガイドラインについては医ケア児ガイドライン作成ワーキンググループで現在その内容を検討中。
- 今年度内の完成は難しく、来年度も時間を要すると思われます。
- 9月19日に医ケア児に係る研修を開催予定です。
詳細については資料「令和7年度熊毛圏域医療的ケア児等研修会チラシ」及び「申込書」を参照してください。

橋口会長

先日研修に行かれた方、ちょっと研修の様子を教えてくださいませんか？

ことの葉 村田氏

医療的ケア児等コーディネーターの研修を修了していますので、一緒に錦江町に視察に活かしてもらいました。錦江町の該当児は、保護者が居住地域の学校に通わせたいという思いがあり、それを行政が受けてまずは校内の移動を保障するために学校にエレベーターを設えるといった支援が始まったそうです。就学後は教育と医療の境界が明確であり、先生方が安心して教育に向き合っており、その背景として児に係ることが出来る看護師がしっかりと確保できていることが挙げられます（地域と鹿児島市内から）。地域ぐるみで子育てに熱心で、子どもたちに対する理解も、また子どもたちの理解もある地域である故、児は安心して登校し学校生活を楽しめているようです。現在は進学に向け、中学校へのエレベーター設置が行政主導で勧められています。

令和7年度熊毛圏域医療的ケア児等研修会

【目的】医療的ケアの必要な方が生まれてから現在までどのように成長してきたかを地域で暮らす一人として多くの方々に知って頂く機会を作ることを目的に研修会を開催します。



日時

令和7年9月19日(金)

18:00 ~ 20:00

テーマ

「重症心身障害者と本人のトリセツ」

・田上診療所

院長:岩元 二郎先生

「楽しく過した学生生活」

・特別支援学校

在校時担任:窪田 雅人先生

「生まれてから今日まで」

保護者:内門 紀子氏

会場

中種子町

中央公民館

お申込み

QRコード・FAX・お電話で
お申し込みください。

オンライン
での参加

ハイブリッド配信いたします。
申し込みされた方へは
URLをお知らせします。

締め切り日:8月30日(土)

相談支援センターねいろ 24:0997-27-1155
相談支援センターやくしま:0997-46-2277

対象者

熊毛圏域にお住まいの方なら
どなたでもご参加いただけます。
是非皆さまのご参加をお
持ちしています。

参加費:無料



共催: 種子島地区自立支援協議会

屋久島町自立支援協議会

鹿児島県相談支援専門員協会

令和 7 年度

医療的ケア児等研修会

申込書

お申込み期限:8 月 30 日(土)

送信先(送信票不要)

相談支援センターねいろ 24 行

FAX0997-27-1055

事業所名 (個人で参加の方は不要)			
連絡先 ハイブリット参加の方は メールアドレスの記入を お願いします。	担当:		TEL:
	Mail:		
職種・職名	氏 名	参加形態	備考
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	
		☐ 会場(中種子町中央公民館) ☐ ハイブリット	

質問がある方はご記入ください。

権利擁護部会

- ・ 令和7年度も引き続き市町広報紙に『自立支援協議会だより』枠を頂いており、広く島民の皆様と共有したい情報を協議会から発信させてもらっています。
もともとは光に対する特異な感覚を抱えているために学習場面その他の生活上の困難を抱えるアーレンシンドロームのことを広く地域の方々に知ってもらいたいという保護者からの要望があり、それが実現したものです。
今年度からは当初の定例会メンバーのみではなく適任者に執筆を依頼してより幅広い視点から発信しています。記事は自立支援協議会ホームページの「資料・発行物」からもご覧いただけます。
- ・ 11月11日(火)～13日(木)の三日間、講師にフリーのソーシャルワーカーである土屋徹氏を招いて自立支援協議会主催の研修会が開催されます。虐待防止・権利擁護の観点からもお話をいただく予定です。
- ・ 誰もが認め合いながら暮らすことのできる社会の実現に向け、障害を抱える人や社会的に少数派の人々を身近に感じてもらうことを目的に、本年度も映画の上映会を企画しています。
今回上映予定の映画は『うやけ子どもクラブ』(2019年、井出洋子監督作品)です。

場所： 令和7年12月6日(土)/中種子町公民館大ホール

上映時間 12/6(土) 午後 1回 (上映時間112分)

上映時間 12/7(日) 午前 1回

参加費無料

基幹荒木

上映料の関係や、映画をみていただきたい児童クラブの支援員の方々の事情を考えると、上映日は一日に絞り、夕～夜の上映会も検討した方が良いと思われます。今後共生フェスタの実行委員会でも協議しながら詳細を詰めていきたいと思います。

詳細が決まりましたら、ホームページにも掲載しご案内させていただきます。

担当 基幹相談支援センター 荒木

種子島地区自立支援協議会事務局より

- 小児科医の岩元先生が主宰する、種子島四葉の会が相談支援部会の構成組織となりました。
- 8月30日(土)に西之表市民会館で、第二回やくたね五葉の会が開催されます。種子島地区自立支援協議会が共催となっております。(チラシ参照)。
- 昨年に引き続き自立支援協議会主催の研修として 11 月 11 日(火)~13(木)の 3 日間で、フリーソーシャルワーカーの土屋徹氏を講師に招き、研修を実施する予定となっています。本年度は権利擁護・虐待防止に係るお話もしていただく予定です。他には、子どもの SST や精神の方に係る講座が開催予定です。詳細はこれから土屋氏と調整していきます。
- 日本国内では 12 月 3 日(水)~9 日(火)は障害者週間となっています。種子島地区自立支援協議会ではこの期間に合わせ、島内に暮らす人々が障害の有無にかかわらずともに楽しい時間を共有できるよう、中種子町公民館にて 12 月 6 日(土)に共生フェスタ(仮称)を開催する予定です。実際の内容としては以下の内容が企画されています。
 - ・ 講演会
 - ・ 舞台発表
 - ・ 作品展示
 - ・ 無料映画上映会
 - ・ 物品販売 (食品その他)
- 今後の予定の件
二月の自立支援協議会の予定日に変更があります。
斜文字で記している箇所が日程が変わったものです。ご確認ください。
- その他
橋口会長
暁星会あかつき園主催で 10 月 4 日福祉祭を開催します。基本的には利用者の発表会です。物販希望の方がいらっしゃったらコリーナで当日販売できます。ミャンマーのチャリティーイベントとして収益の一部を UNICEF、国境なき医師団等を通じ、ミャンマーの大地震からの復興支援に還元してきていきたいと考えています。
- 資料の最後に長寿社会開発センターより、メンタルヘルス対策に関するセミナーの案内を頂いています。必要と思われる方に御案内ください。

第2回

やくたね五葉の会

令和7年8月30日（土）

開場受付 午前9時00分

場所：西之表市民会館

《午前の部》9時30分～12時00分 場所：大ホール

特別講演『教育・福祉・医療の現状』

（講演1）気になるこどもたちの支援システム～蛤良方式～

福元 康弘（鹿児島県教育委員会指導主事）

（講演2）基幹相談支援センターの現状

荒木 潮彦（種子島基幹相談支援センター相談支援員）

（講演3）小児発達外来の現状

岩元 二郎（田上診療所 院長/小児科医師）

《午後の部》14時00分～16時30分 場所：301号室

シンポジウム1 やくたねの訪問リハビリの現状と課題

炭岡 良（屋久島徳洲会病院リハビリテーション科）

村田 郁美（訪問看護ステーションことの葉）

シンポジウム2 やくたねの児童発達支援の現状と課題

仲 智恵美（児童デイサービス縄文）

遠藤 雅晶（放課後等デイサービスオリーブ）

シンポジウム3 やくたねのダウン症児の現状と課題

溝口悠里（屋久島町在住の家族代表）

松尾裕子（西之表市在住の家族代表）

参加費：大人1,000円

※小児・学生 無料

事前申込みはこちらから→

主催/共催：やくたね五葉の会/種子島地区自立支援協議会、四葉の会

後援：西之表市教育委員会、中種子町教育委員会、南種子町教育委員会

協賛：熊毛地区医師会、田上診療所、社会福祉法人暁星会、NPO法人こすも

豊山会たちばな園

（問い合わせ）事務局：田上診療所 担当：濱添信人 電話：0997-27-0325



第2回 やくたね五葉の会 サブイベント

① やくたねのダウン症親子交流会

令和7年8月30日土曜日 午前10時～12時

西之表市民会館302号室（畳部屋）

★親子きょうだい参加、顔合わせ、議題なし自由歓談
（雑談）、時間内の参加退出はいつでも OK
子どもたちは畳部屋で自由遊び

② 作品展示会

令和7年8月30日土曜日 午前10時～午後4時30分

西之表市民会館 3階共有ホール又は1階ロビー

○河野風馬（あかつき工房） イラスト・絵

○羽生花音（中種子特別支援学校中学部）レジン

○アトリエtempo 生徒作品

③ アトリエtempo 見学ツアー

（中種子屋久津 岩岡小学校近く）

令和7年8月31日（日） 午前～午後

アトリエ代表：浦邊あゆみ

第1回やくたね五葉の会で居場所として発表。

屋久島が真近にみえる絶景ポイント！

1978年——東京 小平に障害のある子どもの放課後を支援する活動が生まれた。

どこまでも
君と一緒にだよ

「ショージとタカオ」
井手洋子監督作品

ゆうやけ 子どもクラブ!



ゆっくり育つ子どもたち、じっくり向き合う大人たち。カメラが寄り添う子どもたちの時間。
企画：「ゆうやけ子どもクラブ!」上映実行委員会 監督・製作：井手洋子 撮影：中井正義/井手洋子 編集：大川景子 整音：遠藤春雄 音楽：芳賀一之 題字：永野徹子 宣伝美術：成瀬慧
協力：小林 光/福山啓子/Everly/あがた せいじ/森由己/ゆうやけ子どもクラブ/ゆうやけ第2子どもクラブ
ゆうやけ第3子どもクラブ/ゆうやけ子どもクラブ父母会 www.yuyake-kodomo-club.com/

企画：「ゆうやけ子どもクラブ!」上映実行委員会 監督・製作：井手洋子
給：井手商店映画部+ピカフィルム 2019年|日本|カラー|DCP|112分



「放課後活動は、あらかじめ決められた範囲のことをやっているのじゃなくて、場合によっては遥か彼方まで子どもと一緒に飛んでいくつもりで…」

—— 村岡真治

(ゆうやけ子どもクラブ 代表)

子どもたちひとりひとりの顔が声が
あざやかな色のように目に飛び込んでくる!

—— 香山リカ (精神科医)

子どもたちの変化と成長を映像は確実に捉えている。
人は人の中で育つということを教えてくれる映画である。

—— 前川喜平 (現代教育行政研究会代表・元文部科学事務次官)

ゆうやけ
子どもクラブ!

子どもたちを理解するための、大切な場所がここにある。

東京都小平市にあるゆうやけ子どもクラブは、今から40年以上前の1978年に、障害のある子どもの放課後や夏休みの活動場所が欲しいという親の切実な願いで誕生した。全国でも放課後活動の草分け的な存在だ。

ゆうやけでは、小学生から高校生までの子どもたちが共に放課後を過ごす。知的障害、発達障害、自閉症など、障害はさまざまだが、遊びや生活を通して、子どもたちの内面に迫る活動を創り上げてきた。

カメラは、クラブに通う子どもたちに寄り添う。自分の気持ちをうまく表現できないガク君。積み木に夢中になって子どもたちの輪になかなか入ることができないヒカリ君。音に敏感すぎるカンちゃんは、ずっと給湯室にこもっている。スタッフは子どもたちを全身で受け止める。カメラは、そんな彼らが時間をかけてゆっくりと変っていく姿を追いかける…。

子どもたちにとって大切なことは何か。映画は、ゆうやけ子どもクラブでの子どもたちの時間を描き、問いかける。

放課後等デイサービスとは?

2012年に、障害のある子どもの放課後や夏休みなどの生活を支えるために「放課後等デイサービス」という、国の制度ができた(児童福祉法にもとづく)。国会請願(2008年。署名11万8千筆)が採択されるなど、全国の関係者の願いが実ったもの。現在、事業所数1万3千か所、利用者数は20万人に達している。ただし、制度の仕組みの不十分さもあり、「利潤を追求し、支援の質の低い事業所が増えている」(2017年、財政制度審議会資料)などの問題もある。



企画:「ゆうやけ子どもクラブ!」上映実行委員会 製作:井手商店映画部 配給:井手商店映画部

お問合せ:03 (6383) 4472 / idesho41ko@gmail.com

ドキュメンタリー映画「ゆうやけ子どもクラブ!」公式HP < www.yuyake-kodomo-club.com >

f ドキュメンタリー映画ゆうやけ子どもクラブ!

令和7年度 第2回長寿社会開発センター研究セミナー〈オンデマンド配信〉 のご案内

この度、長寿社会開発センターでは、「メンタルヘルス」をメインテーマとした研究セミナーを実施（動画視聴サイト又はYouTube/オンデマンド配信）することといたしました。

受講を希望される方は、以下をご確認のうえお申し込みください。

テ ー マ：「メンタルヘルス対策～ストレスマネジメントの実践～」【約90分/予定】

講 師：大野 萌子氏（一般社団法人 日本メンタルアップ支援機構 代表理事）

講師紹介：

公認心理師、産業カウンセラー。

企業内健康管理室カウンセラーとしての長年の現場経験を生かした、人間関係改善に必須のコミュニケーション、ストレスマネジメント、ハラスメントの分野を得意とする。

内閣府などの官公庁をはじめ、大手企業、大学、介護・医療機関等で、6万人以上に講演・研修を行った実績あり。「世界一受けたい授業」「ホンマでっか!?TV」をはじめメディア出演多数。

著書「よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑[®]」（サンマーク出版）はシリーズ51万部超のベストセラー。

研修目的・研修概要：

令和5年「労働安全衛生調査」では、「過去1年間にメンタルヘルス不調により連続1ヶ月以上休業した労働者又は退職した労働者がいた」割合が、『医療、福祉』（産業別）では17.6%でした。

なかでも、「退職した労働者がいた」割合は12.0%を示し、『情報通信業』の14.7%に次いで、2番目にその割合が大きい結果でした。（令和5年「労働安全衛生調査」-事業所調査結果より）

また、上記調査の個人調査結果をみると、「現在の仕事や職業生活に関することで、強い不安、悩み、ストレスと感じる事柄がある」と回答した『医療、福祉』は77.4%（全産業計は82.7%）であり、その主な内容として、「仕事の量」（42.6%）、「仕事の失敗、責任の発生等」（35.1%）、「仕事の質」（30.9%）が上位を占めていました。

こうした結果からも、介護・福祉、医療の仕事に従事する方は、質が高く且つ多くの業務をこなすことが求められており、それらが、従事者のストレスの発生に少なからず影響があることが窺えます。

メンタルヘルス対策というと「ストレスチェック制度」の活用もあります。本制度は、自身のストレスの程度を自覚する上では有用かもしれませんが、適切な介護・福祉サービスを提供するためには、組織としてストレスマネジメント対策を講じることが必要です。

そこで、本セミナーでは、「なぜ、メンタルヘルス対策が必要なのか?!」の理解を深めるために、ストレスとは何か、自身のストレスの生じ方、ストレスへの対応方法（セルフケア）を学びます。

また、介護・福祉現場特有のストレス要因の把握を通じ、例えば、管理職の立場にある者等が、部下（同僚）の少しの不調に気づき、必要な配慮ができるよう、ストレスマネジメントについて考えます。

受講対象者：

- ・ 居宅介護支援事業所に勤務している方
- ・ 地域包括支援センターに勤務している方
- ・ 在宅サービス事業所に勤務している方
- ・ 基幹相談支援センターに勤務している方
- ・ 都道府県・市区町村職員
- ・ その他本テーマに興味・関心のある方

受講料：無料

実施方法：オンデマンド配信（動画視聴サイト又は YouTube による限定公開。期間中何度でも視聴可能）

配信期間：令和 7 年 9 月 10 日（水）10 時～10 月 10 日（金）17 時迄

申込期間・申込方法：

- ・ 申込期間は、令和 7 年 7 月 25 日（金）10 時～9 月 1 日（月）17 時迄です。長寿社会開発センターのホームページまたは QR コードにアクセスし、お申し込みください。

URL：<https://nenrin.or.jp/research/symposium.html>



※上記の URL にアクセスしてもお申し込みサイトが表示されない場合は、サイトページの更新、またはブラウザのキャッシュクリアをお試しください。

- ・ お申し込みの際はメールアドレスが必要です。
（※送信するメールに PDF を添付する場合があります。添付メールが受信可能なメールアドレスでお申し込みください。）
- ・ お申し込みの際は、メールアドレスに誤りがないか必ずご確認ください。
- ・ 事業所内で受講（視聴）を希望する方が複数いる場合は、それぞれ（各自）でのお申し込みが必要です（同じメールアドレスでのお申し込みは可能です）。お一人のお申し込みで複数人が受講（視聴）することはご遠慮ください。
- ・ 個人での受講（視聴）が原則です。端末のご用意がないなどやむを得ない事情がある場合は、複数名での受講（視聴）も可能とします。ただし、全受講（視聴）者のお申し込みが必要です。
- ・ お申し込み後の自動返信メールはありません。
- ・ 視聴 URL 等は、令和 7 年 9 月 10 日（水）10 時にメールでご案内します。午後になってもメールが届かない場合は、事務局迄ご連絡ください。
- ・ 保険者主催の研修の一環として視聴を希望される場合は、事前にご相談ください。検討させていただきます。なお、研修として活用いただける期間は、配信期間内に限ります。

注意事項：

- ・ 申込者以外の第三者への視聴（受講）URL や研修資料等の転送・共有等を固く禁じます。
- ・ 動画視聴（受講）にあたって必要となるパソコン等の端末、インターネット回線等必要な設備は受講者ご自身でご準備ください。
- ・ データ通信にかかる費用は、受講者負担となります。
- ・ 本セミナーの録画・録音、撮影（スクリーンショット含む）は固くお断りします。
- ・ 本セミナー内容の盗用や SNS への投稿が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処いたします。
- ・ 動作環境の確認・詳細についてのお問い合わせには、対応いたしかねます。
- ・ 受講証明書や修了証等の発行はございません。

主催・問い合わせ先：

一般財団法人 長寿社会開発センター 調査研究開発部（古里（ふるさと）・田中）
〒105-8446 東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 6 階
TEL：03-5470-6767 FAX：03-5470-6763 E-mail：kenkyuu2@nenrin.or.jp
